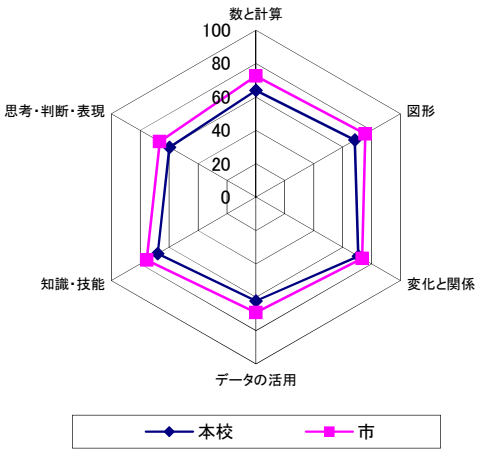
宇都宮市立宝木小学校 第６学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	63.9	72.6	73.1
	図形	68.5	75.7	74.7
	変化と関係	70.9	73.6	66.1
	データの活用	62.2	69.2	70.7
観点別	知識・技能	67.9	75.5	74.4
	思考・判断・表現	59.8	66.5	67.2



※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	本校の平均正答率は，市の平均と比べると低い。 ○2つの文字を使って表された式について，一方の文字から他方の文字の値を求める問題についての正答率が63.1%と市の平均よりも1.2ポイント高い。 ●約分のある分数÷分数の計算問題については，正答率が64.9%と，市の平均よりも21.4ポイント低い。	・小数や分数の計算に課題があることから，授業で基本的な計算にじっくり取り組み，計算の仕方を定着させていきたい。また，朝の学習の時間やAIドリルなどを活用して，計算練習を繰り返し指導することで，個別支援を行い，基礎基本を身に付けさせたい。分数に苦手意識がある児童は多いので，分数の学習が始まる中学年から，丁寧に指導したり，身近な内容に置き換えて考えさせたりしながら，分数の意味を理解させていきたい。
図形	本校の平均正答率は，市の平均と比べると低い。 ○点対称な図形の模様をつくる問題は，正答率が77.5%と市の平均と比べると1.1ポイントとやや下回ったものの差が少なかった。 ●合同な三角形を作図する問題は，正答率が78.4%と市の平均よりも8.1ポイント低い。	・図形の模様は身近なところにも使われており，児童にとっても親しみがあり，理解しやすかったようである。反面，合同な図形の条件や図形の性質の理解が不十分であったのは，生活の中で意識することが少ないことも一因である。合同の意味や，それぞれの図形がどのような性質を持っているのか，性質の違いを比べながら意識できるように指導していくとともに，身近な形でも，どういう性質か考える機会を設け，図形への関心を高めたい。
変化と関係	本校の平均正答率は，市の平均と比べるとやや低い。 ○表から面積と人数の割合を求め，どの公園が最も混んでいるかを求める問題は，正答率が72.1%と市の平均と比べて1.2ポイント低いが差が少なかった。 ●文章を読んで半分が何パーセントであるかを求める問題は，正答率が86.5%と市の平均よりも4.1ポイント低い。	・答えを導くまでに，複数の立式や計算があると間違えてしまう児童が多い。無回答も多く，諦めてしまう児童が見られることから，基本的な問題を繰り返し解くことで自信を育むとともに，少し難しい問題にも挑戦し，みんなで解決しながらできた喜びを味わえるような指導をしていきたい。また，長い文章を読んで状況を理解することが苦手な傾向がみられることから，算数だけではなく，他教科でも文章問題の内容を読みとれる経験を積ませていきたい。
データの活用	本校の平均正答率は，市の平均と比べると低い。 ○値に0があり，答えが小数になる分離量の平均を求める問題は，正答率が84.7%と市の平均よりも0.8ポイント高い。 ●代表値を用いて，半分より高い記録なのかどうかを説明する問題は，正答率が16.2%と市の平均よりも13.6ポイント低い。	・授業では，体力テストの結果やアンケートの結果など身近な課題を取り扱い，興味をもってデータや資料に関わることができるようにすることで，それぞれの値の意味を理解できるようにしていきたい。また，データを集めた結果を，多面的・多角的に見て比較・検討する力を身に付けることができるように，資料を選んだ理由を友達と伝え合うような場を設定することで，考えたことを表現する力を養いたい。